



たきた敏幸県議会サポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

放射能焼却灰の一時保管

「県と地元住民の信頼が第一」

知事

不安払拭に万全を期す

県議会随一の論客、13度目の登壇



ごみ焼却灰問題で厳しく質す滝田敏幸県議

千葉県議会保守派の若手論客として注目を集める滝田敏幸（たきた・としゆき）県議。Ⅱ印西市選出・2期目Ⅱは、12月定例会一般質問で、通算13度目の登壇をしました。県消防学校の候補地選定、北総鉄道、放射能焼却灰の一時保管問題等、県政と北総地域の課題について、県の施策・方針を厳しく質しました。

特に、指定廃棄物の最終処分場問題では、候補地となる周辺住民との対話の重要性を訴え、科学的知見に基づく正しい情報を周知するため、放射線防護アドバイザーの配置を県に提案しました。また、県の総合防災拠点について、あらためて印西市への誘致を提案。県消防学校と防災センターの機能と役割について質疑を行いました。

12月県議会一般質問

滝田議員 手賀沼流域下水道終末処理場における「ごみ焼却灰」の一時保管に当たっては、私の地元である印西市周辺在住の皆さまから、放射線に対する不安の声が寄せられています。こうした周辺住民の不安の声に真摯に耳を傾け、誠実な対応を丁寧に行っていくことが、一人でも多くの県民に、この問題をご理解いただくための唯一の方法だと思います。

そのためには、放射線についての十分な監視を行うとともに、その結果を分かりやすい形で公表していくことが必要です。

また、結果については県のホームページに掲載するほか、一時保管場所の入口付近に掲示板を設置して公表するなど、周辺住民の皆さまの不安の払しょくを風評被害の防止に努めてまいります。

こと、つまり安全であることが一目瞭然で示されること、特に重要だと思います。そこで伺います。ごみ焼却灰の一時保管に当たって、周辺住民の不安払しょくのため、空間線量の監視・公表はどのような行っているのか。

このため、放射性物質に関する正しい知識が、県民の常識になるような、力強く組織的な発信が必要だと思います。私は、改めて千葉県には放射線リスクのアドバイザーの配置が必要だとの想いを持っています。このことについて、ぜひ検討を強く要望いたします。

要望

来年度以降、最終処分場問題は本県の一大事になると思います。県としても、放医研にお願いして、県民向けの講習会を開催するなど、正しい情報の普及に取り組みとのことですが、せっかくの情報もすぐに別の、いろいろ風評を含めた情報に埋没してしまうような状態にあります。

●県政と印西市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

たきた敏幸事務所

〒270-1326 印西市木下1521-125 2F TEL.0476(37)4173

たきた敏幸・PROFILE

□略 歴□

- 1960年 印西町大森生まれ 大森小、印西中 県立我孫子高校 同志社大学卒業
- 1982年 同志社大学卒業
- 1999年 印西市議初当選
- 2003年 印西市議再選
- 2007年 千葉県議初当選
- 2008年 印西市消防団副団長 県議会：総合企画常任委員長
- 2010年 千葉県ラグビー協会会長
- 2011年 千葉県議再選

□現 職□

- 県議会 環境警察常任副委員長 議会運営委員会委員

お知らせ

滝田敏幸県議の12月県議会での質疑は、県議会のホームページから「議会中継（録画）」ですべてご覧いただけます。